

まちの話題

2月5日[Wed]

サガン鳥栖の安藤寿岐選手が表敬訪問



▲サイン入りのユニフォームを手に笑顔の安藤選手（中央右）と横尾市長（中央左）

2025年シーズンからサガン鳥栖に加入した安藤寿岐選手（東多久町）が横尾俊彦市長を表敬訪問されました。多久市出身でプロサッカー選手となったのは、安藤選手が初めてです。

安藤選手は小学3年生からサッカーを始め、中学・高校時代はサガン鳥栖ユースメンバーとして活躍。その後、筑波大学に在籍しながらプロの道へと進みました。

安藤選手を迎えた横尾市長は「期待の大きさを負担に感じることなく大いに頑張ってください」と激励。安藤選手は「日本を代表する選手になれるよう、プロとしての自覚と責任を持ってプレーします」と今後の目標を話されました。



2月14日[Fri]~16日[Sun]

県内一周駅伝で5位入賞の快挙！



▲たくさんの応援を受けながら県立産業技術学院前で出雲選手から川原選手へたすきがつながりました

第65回県内一周駅伝大会（主催：佐賀新聞社・佐賀陸上競技協会）が、今年も3日間にわたり開催されました。多久市チームは14時間47分46秒と、昨年より45分59秒ものタイムを短縮して見事5位入賞。入賞は第1回大会以来の快挙で、躍進賞も獲得しました。

26区で力走を見せた出雲一真選手は、沿道の拍手を浴びながら2位でたすきを川原健太選手へ。出雲選手は「5位でたすきを受けた時に前の3チームは圏内に見えていたので、最初から攻める姿勢で走りました」と振り返りました。さらに、21区では田代常太郎選手（中央校9年）が区間賞を獲得する快走を見せました。

3月7日[Fri]

義務教育学校で卒業式



▲卒業生は合唱を披露し、中央校での思い出を歌に込めました

市内の義務教育学校で卒業証書授与式が行われ、計153人の卒業生が9年間を過ごした思い出深いそれぞれの学び舎を巣立ちました。

東原彦舎中央校では、卒業生の保護者と5年生から8年生の在校生、教職員、来賓のみなさんが式に臨席。田代豊樹校長は「これから歩む人生には大きな困難や試練が待っていることでしょう。精いっぱい、それぞれの花を咲かせてください」とはなむけの言葉を贈りました。

卒業生代表の大坪美優さんが「多くの人の助けを得て、成長していくことができました。中央校で過ごした一瞬一瞬が私の宝物です。これからは進路に向け、自分の足で歩いていきます」と感謝を込めて答辞の大役を果たしました。



多久をたくさん知ってもらうSNS！

登録をおねがいします！



多久市公式 LINE